

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月28日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,382	3.6	1,141	16.6	1,176	16.1	610	36.3
2019年3月期第2四半期	16,778	△1.8	979	31.7	1,013	30.7	447	11.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 739百万円 (22.9%) 2019年3月期第2四半期 601百万円 (37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	41.13	—
2019年3月期第2四半期	30.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	25,519	12,616	43.2	743.51
2019年3月期	25,269	12,978	41.9	714.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,028百万円 2019年3月期 10,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期（予想）			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期の期末配当金には記念配当2円が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	2.8	1,550	4.8	1,645	6.7	790	2.6	53.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	15,180,000株	2019年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	347,124株	2019年3月期	347,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	14,832,876株	2019年3月期2Q	14,832,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げを前に、緩やかながらも駆け込み需要が耐久財や高額商品で発生したほか、軽減税率対応への需要も好材料となりました。また、公共工事の前倒し執行や東京五輪を控えた建設投資から工事関連事業が活発化しました。一方では、世界的な自動車販売および半導体関連の低迷や、工作・機械産業の受注減を背景に製造業の悪化が続きました。深刻な人手不足による人件費の高騰や、台風15号の被害により一部地域で企業活動が停滞するなど、景気後退局面入りの可能性も出てきました。

このような状況のもと、当社グループでは、新商品開発への積極的な取組みと、顧客サービスの強化に努めてまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高173億82百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益11億41百万円（同16.6%増）、経常利益11億76百万円（同16.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億10百万円（同36.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

住宅市場は、持家と分譲住宅で消費増税前の駆け込み需要がみられ前年を上回っていますが、貸家については金融機関の厳格な審査姿勢の影響もあり前年を下回って推移しております。4月から8月までの新設持家着工数は全国で128千戸（前年同期比6.0%増）、北海道で5千戸（同4.5%増）と前年を上回る水準で推移しております。このような状況のもと、工務店に対する営業支援のための提案型モデル住宅「Skogのいえ」の全国展開とその商品群のブランド化を進め、自然素材の輸入関連商品、床下冷暖房システム「Air Volley」などの新商品開発と販売強化に努めてまいりました。これらの結果、売上高63億36百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益5億33百万円（同4.1%増）となりました。

(小売事業)

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上、接客力の強化に努めてまいりました。また、消費増税前のお客様の需要に応えるべく、他店との差別化を図る催事を企画いたしました。これらの結果、売上高95億66百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益6億21百万円（同18.4%増）となりました。

(不動産事業)

前年に行った賃貸用建物の建て替えによる収入増とホームセンターへの新テナント入居により、売上高1億71百万円（前年同四半期比52.0%増）、営業利益1億16百万円（同58.0%増）となりました。

(足場レンタル事業)

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めておりますが、今年度は資材の仕入れが先行したこともあり、売上高5億77百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益38百万円（同31.0%減）となりました。

(サッシ・ガラス施工事業)

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めており、売上高7億31百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業利益41百万円（同96.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は255億19百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億49百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が9億99百万円減少したものの、売上債権が11億7百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は129億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億11百万円増加しております。これは主に、買入債務が11億30百万円、未払法人税等が1億54百万円それぞれ増加したものの、借入金が8億20百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は126億16百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億61百万円減少しております。1株当たりの純資産は743円51銭となり、前連結会計年度末に比べて29円11銭増加しております。

なお、自己資本比率は43.2%となっており、前連結会計年度末と比較して1.3ポイント向上しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ9億99百万円減少し、29億76百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は11億66百万円(前年同四半期は9億24百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が11億77百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は2億30百万円(前年同四半期は6億62百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億11百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の減少は19億35百万円(前年同四半期は4億21百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の返済による支出8億20百万円、配当金の支出1億77百万円及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出9億23百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2019年5月9日付「2019年3月期 決算短信」において発表しております2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,988,123	2,988,505
受取手形及び売掛金	2,348,410	3,424,703
電子記録債権	121,232	152,567
商品	3,209,880	3,473,551
販売用不動産	82,029	82,029
その他のたな卸資産	29,377	38,692
その他	135,296	95,299
貸倒引当金	△10,316	△9,726
流動資産合計	9,904,034	10,245,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,895,862	7,758,244
土地	2,932,723	2,939,701
その他(純額)	2,466,013	2,497,764
有形固定資産合計	13,294,599	13,195,710
無形固定資産		
のれん	206,830	180,976
その他	125,498	131,603
無形固定資産合計	332,328	312,579
投資その他の資産		
その他	1,756,478	1,796,358
貸倒引当金	△17,519	△30,794
投資その他の資産合計	1,738,958	1,765,564
固定資産合計	15,365,887	15,273,853
資産合計	25,269,921	25,519,476
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,624,286	2,662,404
電子記録債務	439,594	531,634
短期借入金	3,322,700	2,952,800
未払法人税等	352,833	507,039
賞与引当金	153,265	194,608
その他	738,583	812,304
流動負債合計	6,631,263	7,660,791
固定負債		
長期借入金	4,251,100	3,800,200
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	241,918	254,452
資産除去債務	322,118	324,904
その他	816,263	833,696
固定負債合計	5,660,410	5,242,263
負債合計	12,291,673	12,903,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,427
利益剰余金	8,737,644	9,169,758
自己株式	△132,934	△132,934
株主資本合計	10,232,560	10,664,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,021	192,676
土地再評価差額金	171,061	171,061
その他の包括利益累計額合計	364,083	363,737
非支配株主持分	2,381,604	1,588,083
純資産合計	12,978,247	12,616,422
負債純資産合計	25,269,921	25,519,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	16,778,898	17,382,982
売上原価	12,292,653	12,673,762
売上総利益	4,486,244	4,709,219
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,341,663	1,368,813
賞与引当金繰入額	186,889	198,250
退職給付費用	16,793	19,986
貸倒引当金繰入額	470	1,525
その他	1,961,164	1,979,001
販売費及び一般管理費合計	3,506,981	3,567,576
営業利益	979,262	1,141,643
営業外収益		
受取利息	514	421
仕入割引	41,378	41,815
その他	47,266	45,014
営業外収益合計	89,158	87,252
営業外費用		
支払利息	16,424	13,257
売上割引	35,809	36,239
その他	2,852	2,814
営業外費用合計	55,086	52,311
経常利益	1,013,335	1,176,584
特別利益		
固定資産売却益	—	590
特別利益合計	—	590
特別損失		
固定資産除売却損	18,000	4
特別損失合計	18,000	4
税金等調整前四半期純利益	995,335	1,177,170
法人税、住民税及び事業税	423,151	476,206
法人税等調整額	△47,731	△39,522
法人税等合計	375,420	436,684
四半期純利益	619,914	740,486
非支配株主に帰属する四半期純利益	172,304	130,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	447,609	610,108

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	619,914	740,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,225	△764
その他の包括利益合計	△18,225	△764
四半期包括利益	601,688	739,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,213	609,763
非支配株主に係る四半期包括利益	172,475	129,958

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	995,335	1,177,170
減価償却費	350,904	351,006
のれん償却額	25,853	25,853
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,544	41,343
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,642	12,684
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,787	12,533
受取利息及び受取配当金	△8,513	△8,805
支払利息	16,424	13,257
固定資産除売却損益(△は益)	18,000	△586
投資有価証券売却損益(△は益)	—	375
売上債権の増減額(△は増加)	△770,323	△1,120,931
たな卸資産の増減額(△は増加)	△135,704	△272,985
仕入債務の増減額(△は減少)	641,601	1,130,158
未払消費税等の増減額(△は減少)	△244,996	57,850
その他	164,608	75,182
小計	1,110,880	1,494,107
利息及び配当金の受取額	8,513	8,805
利息の支払額	△16,432	△13,466
役員退職慰労金の支払額	△8,720	—
法人税等の支払額	△170,018	△323,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	924,222	1,166,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△201	△206
有形固定資産の取得による支出	△648,711	△211,832
有形固定資産の売却による収入	—	1,035
無形固定資産の取得による支出	△10,525	△24,457
投資有価証券の取得による支出	△2,454	△2,560
投資有価証券の売却による収入	—	1,037
貸付けによる支出	△3,300	—
貸付金の回収による収入	3,339	6,242
出資金の払込による支出	△150	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△662,003	△230,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	△350,000
長期借入金の返済による支出	△511,771	△470,800
配当金の支払額	△147,987	△177,380
リース債務の返済による支出	△11,943	△13,592
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△923,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△421,701	△1,935,325
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△159,482	△999,825
現金及び現金同等物の期首残高	3,500,873	3,976,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,341,391	2,976,874

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	6,048,909	9,462,532	112,758	555,031	599,665	16,778,898
セグメント間の 内部売上高又は振替高	295,713	1,657	28,608	776	8,690	335,444
計	6,344,623	9,464,190	141,366	555,807	608,355	17,114,342
セグメント利益	511,935	524,513	73,996	56,286	21,222	1,187,954

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,187,954
セグメント間取引消去	△2,785
全社費用(注)	△205,906
四半期連結損益計算書の営業利益	979,262

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	6,336,069	9,566,246	171,442	577,517	731,706	17,382,982
セグメント間の 内部売上高又は振替高	273,086	2,336	19,728	552	2,413	298,116
計	6,609,155	9,568,582	191,170	578,069	734,120	17,681,098
セグメント利益	533,090	621,030	116,935	38,810	41,609	1,351,475

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,351,475
セグメント間取引消去	770
全社費用(注)	△210,602
四半期連結損益計算書の営業利益	1,141,643

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。